

問題番号	問い	次の連立方程式の解をグラフを使って求めなさい。 $\begin{cases} 2x + y = 7 \\ y = x + 1 \end{cases}$		
10	正解			
誤答例		つまずきの原因	分析と解消	
1	無解答	(1) 連立方程式の解とグラフの交点と同じことを理解していません。	【10 - 1】	
		(2) 2元1次方程式をyについて解くことができていません。	【10 - 1】	
		(3) 式からグラフをかく方法を理解していません。	【10 - 1】	
2	(3, 2)	x座標とy座標を逆に考えています。	【10 - 2】	
<p>正解の解説</p> <p><math>2x + y = 7</math>をyについて解くと、<math>y = -2x + 7</math>となります。</p> <p>2つのグラフをかき、交点の座標をよみとります。</p>				
練習	次の連立方程式の解を、グラフをかいて求めなさい。 $\begin{cases} 2x + y = 4 \\ x + 3y = -3 \end{cases}$			
解答	(3, -2)			

## 誤答例1のつまずきの分析【10 - 1】

連立方程式の解とグラフの交点の座標が同じことを理解していません。また、グラフをかくために、式を $y$ について解くこと、 $y$ について解いた式からグラフをかくことができていないと考えられます。連立方程式の解とグラフの交点の関係を理解するとともに、2元1次方程式のグラフのかき方を学習する必要があります。

### つまずきの解消

#### (1) 連立方程式の解とグラフの交点の関係

連立方程式の解は、2つの2元1次方程式の共通な解を表します。

グラフは、2元1次方程式の解の集合を表しています。

2つの2元1次方程式のグラフの交点は、共通な解を表します。

よって、連立方程式の解は、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標になります。

#### (2) 2元1次方程式のグラフのかき方

2元1次方程式のグラフをかくときは、この式を $y$ について解き、1次関数のグラフとしてかけばよいのです。

$$2x + y = 7$$

$$y = -2x + 7$$

左辺にある $2x$ を移項するので、 $-2x$ となる。

#### (3) グラフのかき方

つまずきの解消【7 - 1】を参考にして確認してみましょう。

## 誤答例2のつまずきの分析【10 - 2】

座標のよみ方を理解していません。座標のよみ方を学習する必要があります。

### つまずきの解消

つまずきの解消【7 - 1】を参考にして確認してみましょう。